

平成 29 年度 佐久圏域大規模氾濫減災協議会 議事録（要旨）

◇前述

- ・本協議会開催前に、協議会関係者（後の構成員）に規約（案）及び取組方針（案）を提示し、修正点等を意見聴取した

◆議事

○佐久圏域大規模氾濫減災協議会の設立について（建設部河川課）

- ・県管理河川について、水防災意識社会を再構築するため、河川管理者・市町村などからなる大規模氾濫減災協議会を10圏域で設立。現状の水害リスク情報や取組情報の共有を図る。
- ・危機管理型水位計の設置について、H29補正予算を活用し推進する。協議会での取組方針に基づき設置を行う方針もあり。県内で300箇所を予定。
- ・想定最大規模降雨の浸水想定区域図について、佐久地域（千曲川上流域）はH32ころ作成予定。
※質疑応答なし

○本協議会規約（案）について（佐久建）

- ・事前に意見聴取を実施しており、その意見、追記訂正等について説明
※質疑応答なし
審議の結果、規約は策定された

○取組方針（案）について（佐久建）

- ・事前に意見聴取を実施しており、その意見、追記訂正等について説明
※質疑応答
字句の追記訂正、表現の訂正あり
審議の結果、質疑応答の内容を訂正することで取組方針は策定された

○今後の予定について（佐久建）

- ・策定された取組方針について、今年度中にHPにて公表予定
- ・次年度以降は、出水期前に総合土砂災害連絡協議会と同日時間をずらして開催する

◆各機関からの情報提供

○水害に係る防災気象情報（長野地方气象台）

- ・H29.7から、気象庁では大雨や洪水等の「危険度分布」をHPで公表開始した。地図上で危険度を色分けすることで、視覚的に避難判断できるようになった。

○H29年度災害の情報提供（佐久建）

- ・10月22日～23日の台風21号の気象状況、被災状況、査定結果等を説明